

第1 浄水場更新事業

事業者選定過程及び審査講評

令和8年3月

篠栗町プロポーザル等審査委員会

目次

1	本事業の概要	1
1.1	事業名称	1
1.2	管理者の名称	1
1.3	事業の目的	1
1.4	対象施設及び対象業務	1
1.5	事業方式	4
1.6	事業期間	4
1.7	事業のスケジュール	5
2	本事業の概要	5
2.1	最優秀提案者の選定方法	5
2.2	委員会の設置	5
2.3	優先交渉権者選定の手順	7
2.4	総合評価点の算定	7
3	事業者の募集及び選定のスケジュール	10
3.1	スケジュール	10
3.2	審査の経緯	12
4	審査結果	12
4.1	参加資格審査	12
4.2	提案審査	12
4.3	最優秀提案者及び優先交渉権者の選定	16
4.4	委員会の講評	16

1 本事業の概要

1.1 事業名称

第1 浄水場更新事業

1.2 管理者の名称

篠栗町長 三浦 正

1.3 事業の目的

本事業は、老朽化が進む第1 浄水場について、浄水機能の確保及び水道水質向上（カビ臭対策）を目的として浄水施設の更新を行うものである。

併せて篠栗町水道事業における水源、浄水場、配水池、送水ポンプ場などの全施設について維持管理を適正に実施し、良質で安定した水道水の供給を行うことを目的とする。

なお、篠栗町は「ゼロカーボンシティささぐり」宣言を行っており、本事業において創エネルギー及び省エネルギーの両面から脱炭素化を図るものとし、脱炭素化に関連する補助金事業を活用し事業を実施する。

1.4 対象施設及び対象業務

本事業の対象施設及び対象業務は、以下のとおりである。

(1) 対象施設

表 1.4.1 設計建設業務対象施設

設計建設業務対象施設		概要
第1 浄水場	浄水施設等一式	<ul style="list-style-type: none">・用地造成、土木・建築構造物、機械・電気設備、場内配管及び場内整備を対象とする。・急速ろ過方式とする。・カビ臭対策機能を付加する。・既存施設の撤去は含まないが、工事に必要な個所の撤去工事は含むものとする。・再生可能エネルギー設備を導入する。

表 1.4.2 運転維持管理業務対象施設

施設区分		施設名称	住所
浄水場施設	浄水場	第1 浄水場（既設※）	篠栗町大字篠栗 3766 番地 5
		第1 浄水場（新設）	篠栗町大字篠栗 2977 番地
		第2 浄水場	篠栗町大字和田 129 番地 1
		城戸浄水場	篠栗町大字篠栗 888 番地 2
場外施設	水源	城戸取水井	篠栗町大字篠栗 896 番地 15

		1号取水井	篠栗町大字和田 371 番地 3
		2号取水井	篠栗町大字和田 352 番地 3
		3号取水井	篠栗町大字和田 344 番地 6
		4号取水井	篠栗町大字和田 129 番地 1
		5号取水井	篠栗町大字和田 383 番地 2 先
		10号取水井	篠栗町大字和田 170 番地 3
		11号取水井	篠栗町大字和田 433 番地 1
		12号取水井	篠栗町大字津波黒 688 番地
		山王取水井	篠栗町大字篠栗 2349 番地 1
	配水池	第1浄水場配水池	篠栗町大字篠栗 3795 番地 2
		第2浄水場配水池	篠栗町大字和田 129 番地 2
		城戸配水池	篠栗町大字篠栗 1045 番地 2
		高部（勝負谷）配水池	篠栗町大字篠栗 4585 番地 6
		若杉配水池	篠栗町大字若杉 738 番地 1
		池の端配水池	篠栗町大字津波黒 111 番地 50
		金出配水池	篠栗町大字金出 3279 番地 24
		彩り台受水槽	篠栗町彩り台 346 番地 15
	中継ポンプ場	勝負谷中継ポンプ場	篠栗町大字篠栗 4270 番地 3
		若杉中継ポンプ場	篠栗町大字若杉 1037 番地 7
		池の端中継ポンプ場	篠栗町大字津波黒 119 番地 3
金出中継ポンプ場		篠栗町大字金出 3260 番地 1 先	
彩り台中継ポンプ場		篠栗町彩り台 346 番地 15	
水道用地	篠栗公園管理地	篠栗町中央六丁目 4220 番地 2	
	今里団地管理地	篠栗町庄六丁目 447 番地 6	

※既設第1浄水場施設の運転維持管理業務は、令和9年4月から新設第1浄水場施設の運用開始までの期間とする。

(2) 対象業務

表 1.4.3 設計建設業務

区分	業務	内容
設計業務	測量調査	設計・建設に必要な部分の測量調査を行う。
	地質調査	令和5年度に地質調査を実施しているが、設計・建設に必要な部分の地質調査を行う。
	埋設物調査	既設図面及び現地において埋設物の位置が把握できない場合の試掘等の調査を行う。

	設計業務	基本設計	提案内容や調査業務の結果に基づき、基本設計を行う。
		詳細設計	提案内容や調査業務の結果に基づき、詳細設計及び設計図書の作成を行う。
		設計に伴う各種申請等の補助業務	各種申請等の手続きに必要な関係機関との協議、書類作成等を行い、申請等に係る篠栗町の支援を行う。
建設工事業務	工事業務	各種工事及び工事現場監理業務を行う。	
	工事に伴う各種許認可等の申請業務	各種許認可等の手続きに必要な関係機関との協議、書類作成等を行い、申請により許可を受ける。	
	各種調査業務	建設工事に伴う、電波障害調査、周辺環境調査、生活環境影響調査等について事前及び事後調査を行う。	

②運転維持管理業務

運転維持管理業務対象施設について、次に示す業務を行う。なお、第1浄水場既存施設の運転維持管理業務は令和9年4月1日から第1浄水場新設施設の運用開始までの期間とし、第1浄水場新設施設の運用開始後は、第1浄水場新設施設（既設利用施設を含む）について運転維持管理業務を実施する。

ア) 委託方式

運転維持管理業務対象施設は、水道法第24条の3によらない委託（法定外委託）とする。

イ) 浄水場運転維持管理業務

ア. 運転管理業務

- ・ 運転監視操作業務
- ・ 水質管理業務（毎日水質検査、定期水質検査補助を含む）
- ・ 薬品調達管理業務
- ・ 保安管理
- ・ 衛生管理業務
- ・ 文書等管理業務

イ. 維持管理業務

- ・ 保守点検業務（巡視点検、定期点検、法定・自主点検等）
- ・ 修繕業務

突発修繕、簡易な補修・修繕（既存施設の設備、新設設備）

ウ. 緊急対応業務

り) 場外施設（取水井、中継ポンプ場、配水池）

a. 運転管理業務

- ・運転監視操作業務
- ・薬品調達管理業務
- ・保安管理
- ・衛生管理業務
- ・文書等管理業務

b. 維持管理業務

- ・保守点検業務（巡視点検、定期点検、法定・自主点検等）
- ・修繕業務

突発修繕、簡易な補修・修繕（既存施設の設備、新設設備）

c. 緊急時対応業務

エ) 水道用地

- ・保安管理
- ・衛生管理業務

オ) その他

- ・検満量水器交換、工事立会補助、浄化槽保守点検、施設見学補助、定期水質検査補助

1.5 事業方式

本事業は、第1浄水場更新の実施設計業務、並びに更新工事等及び篠栗町水道施設の運転維持管理業務を一括して実施する「DBO方式」である。

1.6 事業期間

本事業は、基本契約締結の日から令和26年3月31日までを事業期間とする。

維持管理については、現在の「篠栗町水道施設運転維持管理等包括業務委託」の受託者から運転管理方法等について十分に引き継ぎ、事業開始する。

「篠栗町水道施設運転維持管理等包括業務委託」

受託者：株式会社ウォーターエージェンシー九州北オペレーションセンター

業務委託期間：令和4年4月1日から令和9年3月31日まで

1.7 事業スケジュール

事業スケジュールは以下のとおりである。

表 1.7.1 事業スケジュール

項目	スケジュール
基本契約の締結	令和 8 年 4 月
設計建設工事請負契約の締結	令和 8 年 5 月
運転維持管理業務委託契約の締結	令和 9 年 3 月
設計・工事期間	令和 8 年 6 月～令和 11 年 5 月（3 年間）
建設完了	令和 11 年 5 月
運転維持管理期間	令和 9 年 4 月～令和 26 年 3 月（17 年間）
契約終了	令和 26 年 3 月 31 日

2 本事業の概要

2.1 最優秀提案者の選定方法

本事業を実施する事業者には、本事業の対象施設の設計及び工事に関する技術やノウハウが求められる。事業者の選定にあたっては、提案価格のほかに、提案価格以外の技術的な提案内容を評価する公募型プロポーザル方式を採用する。

2.2 委員会の設置

優先交渉権者の選定に際して、「篠栗町プロポーザル等審査委員会設置要綱（平成 31 年要綱第 6 号）」に基づき、「篠栗町プロポーザル等審査委員会」（以下「委員会」という。）を設置した。

委員会は、以下の委員で構成され、委員会における審査は非公開とした。

表 2.2.1 委員会名簿

		役職名	氏名
1	委員長	副町長	田村 明広
2	委員	上下水道課長補佐	木村 信彦
3	委員	上下水道課長補佐	吉竹 浩一
4	委員	都市整備課長	堀 雅仁
5	委員	健康課長	田中 久善
6	委員	総務課 係長	世利 康祐
7	委員	財政課 係長	近藤 雄亮

※役職名は委員委嘱時

2.3 優先交渉権者選定の手順

優先交渉権者選定までの手順は、以下に示すとおりである。

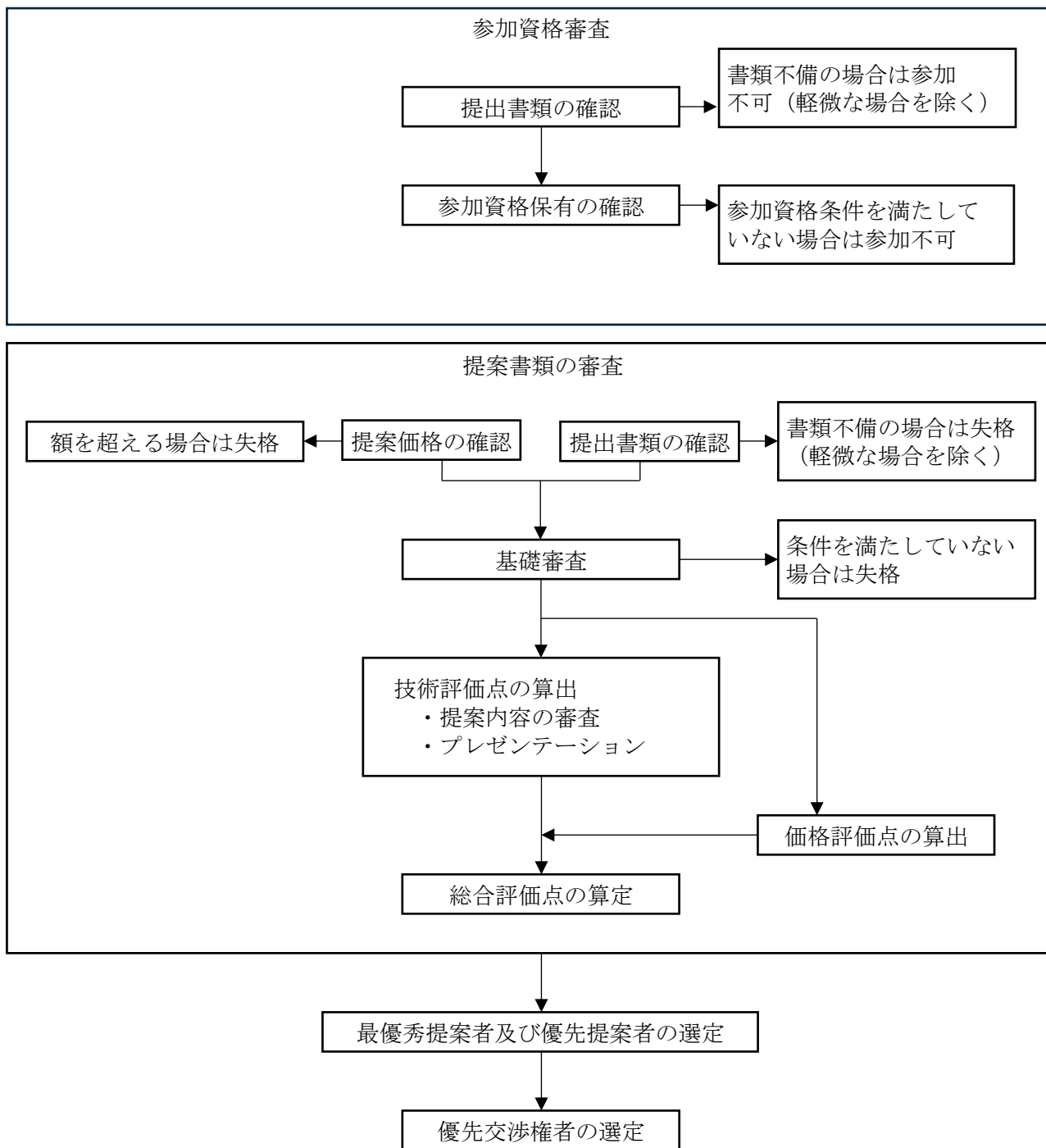


図 2.3.1 優先交渉権者までの手順

2.4 総合評価点の算定

技術提案内容を得点化した「技術評価点」と提案価格を得点化した「価格評価点」を合計し、「総合評価点」を算定した。

2.4.1 技術評価審査

技術の評価においては、参加者が提出した提案内容に対して、審査項目及び配点に基づき得点化（以下「技術評価点」という。）を実施した。

審査項目及び配点は、以下のとおりである。

表 2.4.1 審査項目及び配点表

大項目	中項目	小項目	配点	
設計及び建設の全体に関する事項	事業計画	基本方針について、本事業を実施する際の課題、対応策、それらを踏まえたコンセプト、提案のポイント等を評価する。	10	40
		業務実施体制について、構成員の役割分担、構成員の実績、配置人員等を評価する。	10	
		同種工事・委託の実績について、PPP (DBO/PFI) の実績等を評価する。	10	
		事業スケジュールについて、工程計画の妥当性或工夫等を評価する。	10	
設計に関する事項	浄水処理計画	原水水質、水量の変動特性に対する浄水処理計画の妥当性、水収支に対する考え方や妥当性等を評価する。	20	
	配置計画	施設全体の平面配置計画及び水位高低計画、動線計画、将来の施設更新等について評価する。	20	
	施設計画	土木・建築施設計画について、施設概要（規模・構造・各種施設仕様等）、配管計画、場内整備計画、非常時応急給水拠点計画、外観計画、耐震性・耐久性・安全性、見学者対応方法等について評価する。	30	70
		機械設備計画について、設備概要、配慮した事項、耐震性・耐久性・安全性等について評価する。	20	
		電気・計装設備計画について、設備概要、配慮した事項、耐震性・耐久性・安全性等について評価する。	20	
	建設に関する事項	施工計画	施工計画の概要について、施工計画の基本方針とそれに基づく建設計画（施工方法、施工ステップ等）、既存施設運転への影響抑制策の妥当性、安全管理、品質管理、緊急時の対応、建設廃棄物のリサイクル等の計画等について評価する。	20
各種切替え計画について、配管の切替え方法及び排水方法、薬品注入設備、水質計器、電気・計装設備機器・配線切替え時の対策等について評価する。			20	
地域経済への配慮		地元企業の事業への参画、地域貢献について評価する。	10	
小計			200	

大項目	中項目	小項目	配点
運転維持管理の全体に関する事項	事業計画	基本方針について、維持管理のコンセプト、提案のポイント等について評価する。	10
		業務実施体制について、構成員の役割分担、構成員の役割、篠栗町との連絡体制、運転員の構成、配置人数、及び適切な維持管理体制構築の工夫を評価する。	10
		同種業務の実績について、運転・維持管理業務の実績を評価する。	10
運転維持管理の業務に関する事項	運転管理業務	浄水場施設及び場外施設の運転管理方法に関する具体的な提案を評価する。	40
	維持管理業務	浄水場施設及び場外施設の保守点検・修繕方法に関する具体的な提案を評価する。	40
	緊急時対応業務	浄水場施設及び場外施設の故障時、事故及び災害等の対応、サポート体制、連絡体制について評価する。	40
その他に関する事項	モニタリング	セルフモニタリングの体制、内容を評価する。	10
	移行期間・業務終了時の引継ぎ	移行期間の継続的な維持管理を確保する方法、業務終了時に伴う次期事業者への引継ぎなどに関する具体的な提案を評価する。	10
	地域経済への配慮	維持管理業務において、地元雇用を確保することを評価する。	10
プレゼンテーション		提案内容の分かりやすさ、本業務に取り組む姿勢等について評価する。	20
小計			200
合計			400

2.4.2 得点化方法

(1) 技術評価点の得点化方法

提案評価点は、評価項目ごとに以下のとおり 3 段階の評価を行い、得点化した。技術評価は各審査委員別に行った。各参加者の技術評価点は、各審査委員が得点化した点数を平均して算出した。

なお、技術評価点は、小数点第 3 位以下を四捨五入し、小数点第 2 位までを求めた。

表 2.4.2 得点化方法

評価	判断基準	得点化方法
A	特に優れている	配点×1.0
B	優れている	配点×0.75
C	平均的である	配点×0.5

(2) 価格評価点の得点化方法

提案価格については、以下の方法により得点化した。

価格評価点＝配点（100点）×（最低提案価格／当該提案価格）

注）価格評価点は、小数点第3位以下を四捨五入し、小数点第2位まで求める。

2.4.3 総合評価点の算定及び最優秀提案者等の選定

(1) 総合評価点の算定

各参加者について、提案評価点及び価格評価点を合計し、総合評価点（500点満点）を算出した。

3 事業者の募集及び選定のスケジュール

3.1 スケジュール

事業者の募集及び選定にあたってのスケジュールは、以下のとおりである。

表 3.1.1 スケジュール

日程	実施事項
令和7年6月16日(月)	実施方針及び要求水準書(案)の公表
令和7年7月1日(火)～ 令和7年7月15日(火)	現地見学
令和7年7月16日(水)～ 令和7年7月30日(水)	実施方針に関する質問及び意見の受付
令和7年8月21日(木)	実施方針に関する質問及び意見等への回答の公表
令和7年9月8日(月)	プロポーザル公告及び募集要項等の公表
令和7年9月24日(水)～ 令和7年9月30日(火)	現地見学会の実施
令和7年9月22日(月)～ 令和7年10月6日(月)	募集要項等に関する質問の受付
令和7年10月27日(月)	募集要項等に関する質問への回答の公表
令和7年11月4日(火)～ 令和7年11月7日(金)	参加表明書及びプロポーザル参加資格確認申請書の受付
令和7年11月11日(火)～ 令和7年11月13日(木)	技術対話の実施
令和7年11月17日(月)	参加資格確認結果の通知
令和7年12月1日(月)	公募型プロポーザル方式による業者選定実施公告の中止
令和7年12月19日(金)	プロポーザル公告及び募集要項等の公表(再度公告)
令和8年1月7日(水)～ 令和8年1月9日(金)	現地見学会の実施
令和8年1月13日(火)～ 令和8年1月19日(月)	募集要項等に関する質問の受付
令和8年1月30日(金)	募集要項等に関する質問への回答の公表
令和8年2月2日(月)～ 令和8年2月6日(金)	参加表明書及びプロポーザル参加資格確認申請書と技術対話への参加申込書の受付
令和8年2月13日(金)	参加資格確認結果の通知
令和8年2月16日(月)～ 令和8年2月20日(金)	技術対話の実施
令和8年3月4日(水)～ 令和8年3月6日(金)	提出書類の受付及び提案価格の確認
令和8年3月17日(火)～ 令和8年3月19日(木)	プレゼンテーションの実施及び参加者へのヒアリング

令和8年3月下旬	優先交渉権者決定
----------	----------

3.2 審査の経緯

委員会は全6回開催した。

表 3.2.1 委員会開催日と議事

開催日	議事
令和7年5月28日(水)	事業内容(スケジュール)について 実施方針および要求水準書(案)の公表について
令和7年8月20日(水)	実施方針に関する質問及び意見等への回答の公表について 公告及び募集要項等(要求水準書)の公表について
令和7年10月23日(木)	募集要項等に関する質問への回答の公表について
令和7年11月25日(火)	第1浄水場更新事業の公告中止について
令和8年1月26日(月)	募集要項等に関する質問への回答の公表について(再度公告)
令和8年3月18日(水)	プレゼンテーションの実施及び参加者へのヒアリング

4 審査結果

4.1 参加資格審査

令和7年12月19日付けでプロポーザル公告した本事業において、参加証明書及びプロポーザル参加資格確認申請書を提出した応募者は1者であった。篠栗町は参加者が備えるべき参加資格要件を満たしているかどうかの審査を行い、応募者が当該要件を満足することを確認した。また、篠栗町は令和8年2月13日付けで、参加資格確認結果の通知を応募者に通知した。

4.2 提案審査

4.2.1 提案書類

令和8年3月4日から6日の間に、提案書類を提出した本事業の提案に参加する者(以下「参加者」という。)は1者であった。篠栗町は、提出された提案書類について不備はないことを確認した。

4.2.2 提案価格

令和8年3月6日に提案価格の確認を行い、篠栗町は、参加者からの提案価格が見積上限額を超えていないことを確認した。

4.2.3 基礎審査

篠栗町は、提案価格が見積上限価格以内である参加者を対象として、要求水準内容の審査を実施した。参加者からの提案内容が「要求水準書」に定めた要求水準を満たして

いることを確認した。

4.2.4 技術評価審査

委員会は、提出された提案書類について、優先交渉権者選定基準に基づき、厳正かつ公平に審査を行った。委員会による技術評価審査の結果は、以下のとおりである。

表 4.2.1 技術評価審査の結果

大項目	中項目	小項目	配点	評価
設計及び建設の全体に関する事項	事業計画	基本方針について、本事業を実施する際の課題、対応策、それらを踏まえたコンセプト、提案のポイント等を評価する。	10	8.21
		業務実施体制について、構成員の役割分担、構成員の実績、配置人員等を評価する。	10	8.57
		同種工事・委託の実績について、PPP（DBO/PFI）の実績等を評価する。	10	8.21
		事業スケジュールについて、工程計画の妥当性や工夫等を評価する。	10	8.57
設計に関する事項	浄水処理計画	原水水質、水量の変動特性に対する浄水処理計画の妥当性、水収支に対する考え方や妥当性等を評価する。	20	14.29
	配置計画	施設全体の平面配置計画及び水位高低計画、動線計画、将来の施設更新等について評価する。	20	14.29
	施設計画	土木・建築施設計画について、施設概要（規模・構造・各種施設仕様等）、配管計画、場内整備計画、非常時応急給水拠点計画、外観計画、耐震性・耐久性・安全性、見学者対応方法等について評価する。	30	22.50
		機械設備計画について、設備概要、配慮した事項、耐震性・耐久性・安全性等について評価する。	20	13.57
		電気・計装設備計画について、設備概要、配慮した事項、耐震性・耐久性・安全性等について評価する。	20	12.86
	建設に関する事項	施工計画	施工計画の概要について、施工計画の基本方針とそれに基づく建設計画（施工方法、施工ステップ等）、既存施設運転への影響抑制策の妥当性、安全管理、品質管理、緊急時の対応、建設廃棄物のリサイクル等の計画等について評価する。	20
各種切替え計画について、配管の切替え方法及び排水方法、薬品注入設備、水質計器、電気・計装設備機器・配線切替え時の対策等について評価する。			20	15.00
地域経済への配慮		地元企業の事業への参画、地域貢献について評価する。	10	9.64
小計			200	150.00

大項目	中項目	小項目	配点	評価
運転維持管理の全体に関する事項	事業計画	基本方針について、維持管理のコンセプト、提案のポイント等について評価する。	10	8.21
		業務実施体制について、構成員の役割分担、構成員の役割、篠栗町との連絡体制、運転員の構成、配置人数、及び適切な維持管理体制構築の工夫を評価する。	10	8.93
		同種業務の実績について、運転・維持管理業務の実績を評価する。	10	8.21
運転維持管理の業務に関する事項	運転管理業務	浄水場施設及び場外施設の運転管理方法に関する具体的な提案を評価する。	40	28.57
	維持管理業務	浄水場施設及び場外施設の保守点検・修繕方法に関する具体的な提案を評価する。	40	25.71
	緊急時対応業務	浄水場施設及び場外施設の故障時、事故及び災害等の対応、サポート体制、連絡体制について評価する。	40	32.86
その他に関する事項	モニタリング	セルフモニタリングの体制、内容を評価する。	10	8.57
	移行期間・業務終了時の引継ぎ	移行期間の継続的な維持管理を確保する方法、業務終了時に伴う次期事業者への引継ぎなどに関する具体的な提案を評価する。	10	8.21
	地域経済への配慮	維持管理業務において、地元雇用を確保することを評価する。	10	9.29
プレゼンテーション		提案内容の分かりやすさ、本業務に取り組む姿勢等について評価する。	20	16.43
小計			200	154.99
合計			400	304.99

4.2.5 価格評価点

参加者の提案価格を対象として、次に示す方法に基づき価格評価点を算定した。算定結果は以下のとおりである。

$$\begin{aligned}
 \text{価格評価点} &= 100 \text{ 点} \times (\text{最低提案価格} / \text{当該提案価格}) \\
 &= 100 \text{ 点} \times (3,610,000,000 / 3,610,000,000) \\
 &= 100 \text{ 点}
 \end{aligned}$$

4.2.6 総合評価点

総合評価点は、以下のとおりである。

$$\text{総合評価点} = \text{技術評価点} + \text{価格評価点} = 304.99 + 100 = 404.99 \text{ 点}$$

4.3 最優秀提案者及び優先交渉権者の選定

4.3.1 最優秀提案者及び優先交渉権者

篠栗町は、価格評価点と技術評価点を合計した総合評価点を評価し、「理水化学グループ」を最優秀提案者とし、優先交渉権者に選定した。

表 4.3.1 優先交渉権者の構成員

グループ名	構成	業種名	企業名
理水化学 グループ	代表企業	水道施設工事 機械器具設置工事	理水化学株式会社福岡支店
	構成員	電気工事	株式会社クラフティア
	構成員	土木一式工事	株式会社城戸組
	構成員	建築一式工事	光建設工業株式会社
	構成員	設計業務	アジアエンジニアリング株式会社
	構成員	運転維持管理業務	ヴェオリア・ジェネッツ株式会社九州支店

4.4 委員会の講評

4.4.1 審査項目ごとの講評

(1) 設計及び建設の全体に関する事項

・事業のコンセプトについて、事業期間全体を通して具体的な方針を持って進めていく姿勢が明確になっている点を評価した。

(2) 設計に関する事項

・浄水処理計画について、ろ過設備より発生する洗浄排水を着水槽兼粉末活性炭接触槽に返送するクローズドシステムを実現することで、効率の良い水収支の運用である点を評価した。

・配置計画について、上段敷地に着水槽兼粉末活性炭接触槽、下段敷地に管理棟(浄水池)を配置し、自然流下で通水させポンプ設備を不要としたことを評価した。

・土木、建築施設計画について、土砂災害特別警戒区域に指定されていることを考慮し、待受け式重力式擁壁を設置することで施設の安全性を確保することを評価した。

・機械設備計画について、省エネ効果が期待できる送水ポンプ設備を採用することを評価した。

・電気計装設備計画について、太陽光パネルを管理棟屋上に設置し、発電した電気は場内動力設備及び管理棟の電灯、コンセント、屋外灯で使用することを評価した。

(3) 建設に関する事項

- ・施工計画について、既設浄水場を稼働しながら新浄水場が浄水施設としての機能を有していることを確認したうえで切り替えを行うため、既設施設の運転への影響を最低限とすることを評価した。
- ・各種切替え計画について、新浄水場建設予定地への進入路確保のため、既設同等の性能、能力を有した仮設薬品注入設備を設置することを評価した。
- ・地域経済への配慮について、地元業者、施設、材料や資材の活用について評価した。

(4) 運転維持管理の全体に関する事項

- ・事業計画について、「安全・安心」な水道サービスの確実な提供、効率的で持続可能な施設運営、地域に根ざした事業運営を基本方針とし、篠栗町とともに事業の推進を図ることを評価した。

(5) 運転維持管理の業務に関する事項

- ・運転管理業務について、水安全計画改訂時に篠栗町水安全計画運営チームへ SPC として参画することを評価した。
- ・維持管理業務について、電気設備の異常を未然に発見するために、熱画像診断可能な赤外線サーモグラフィを導入することを評価した。
- ・緊急時対応業務について、近隣拠点から応急要員や資機材を動員することを評価した。

(6) その他に関する事項

- ・業務の移行期間時や終了時に引継協議会を設置し、円滑な引継ぎを行うことを評価した。

4.4.2 総評

本事業は、老朽化が進む第1浄水場について、浄水機能の確保及び水道水質向上（カビ臭対策）を目的として浄水施設の更新を行うものであり、限られた用地の中で既存の施設を稼働させながら更新を行うもので非常に難易度が高く、多額の費用を要するものである。

篠栗町は従来方式の設計・施工・維持管理の分離発注ではなく、民間事業者の技術力や知見を最大限活用する「DBO方式」によることを決定した。

委員会は、実施方針から段階的に募集要項、要求水準書、優先交渉権者選定基準、各契約書(案)等について、多角的な視点から検討し審査を行ってきた。

令和7年9月にプロポーザル公告を行ったものの条件を見直し、同年12月に再度公告をし、篠栗町は競争性を確保するために十分配慮したものと思慮するが、結果的に1グループのみの応募となった。しかしながら、提案内容については代表企業と構成員が専門分野の強みを遺憾なく発揮することで民間事業者の創意工夫が随所に示され、篠栗町が採用した「DBO方式」の成果が十分に発揮されたものであった。

本委員会は、最優秀提案者に選定された理水化学株式会社福岡支店を代表企業とする

グループ（以下「理水化学グループ」という。）が、水道事業に携わる者としての自覚を深く持ち、今後も健全な事業を行うため篠栗町と積極的に意見を交わすなど、官民双方による良好なパートナーシップを構築することで、将来にわたり水の安全・安定供給を確保し、町民生活を支える基盤となることを期待する。

篠栗町と理水化学グループには、今後、次の点に配慮の上、供用開始に向けて真摯に協議を行い、さらなる提案内容の充実に努められたい。

- ◆ 提案書類の内容について両者で十分に協議を行い、詳細設計を行うこと。
- ◆ 限られた用地の中に構造物を構築することから、周辺環境に十分配慮すること。
- ◆ 既存の施設を稼働しながらの更新となることから、水道事業に支障をきたすことのないように十分留意すること。
- ◆ 設計建設業務が3年間と短期であることから、両者でその都度協議を行い、安全・安心な事業を遂行すること。
- ◆ 維持管理業務契約が17年間と長期であることから、修繕費用についての責任分担を明確にすること。また、特別目的会社（SPC）の安定的な経営を要望する。

最後に、技術提案書の作成やプレゼンテーション等、これまで多大な労力と時間を費やし、真摯に取り組んでいただいた理水化学グループをはじめ、熱意を持って本事業に携わってきた篠栗町職員、その他全ての関係者に対し、深く敬意を払うと共に、心より感謝する。